

春の叙勲

本町の2人が栄えある受章

旭日双光章

中小企業振興功労



阿部 幸榮さん
(飯岡・70歳)

飯岡の阿部幸榮さん(70)に、旭日双光章が贈られました。「受章できるとは思ってもありませんでした。これもひとえに皆さんの支援のおかげです」と感想を話します。

平成13年から現在まで山田町商工会の会長、県商工会連合会では、平成27年から副会長として県内商工業の発展に尽力しています。

飯岡の現状把握を行い、町内唯一の経済団体として被災会員に寄り添った支援を行いました。「新たな商店街、本設の店舗などができハード面の復興は進んでいる。人口減少が進むこれからはソフト面の充実が必要になる」と話します。

今後について「ソフト面の充実が一人ではできないものではない。官民一体となり、町全体で取り組めるよう力を尽くしていきたい」と力を込めていました。

旭日双光章

生活衛生功労



稲川 善昭さん
(川向町・74歳)

川向町の稲川善昭さん(74)が、旭日双光章を受章しました。稲川さんは「受章はともありがたく、うれしく思います」と喜びを語ります。

ダンプの運転手として働きながら美容の通信教育を受け、その後は実務経験を積むため東京へ。「山田から東京までの列車に乗り、東京駅で新聞を買って雇ってくれる美容室を探しました」と当時を振り返る稲川さん。その後、山田に戻り実家の美容

室に就職。これまで美容室の経営のほか、県美容業生活衛生同業組合の理事長、全日本美容業生活衛生同業組合連合会の常務理事などを歴任しました。

また、高齢者や障害を持つ人に配慮した美容師を養成する「ハートフル美容師」制度の立ち上げやボランティア活動など福祉の分野にも貢献しました。

「体が動かなくなるまで町民に寄り添う美容師でありたい」と今後のことを話していました。